

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習 I	松田 慎一	1 年次	春

授業のキーワード	読む、書く、話す、聴く
授業の概要	高校までの学習と異なり、大学さらに社会人として必要となるであろう文献の読み方、資料の収集方法、レポートのまとめ方・報告（プレゼンテーション）の仕方などについて学習を行う。さらに自分の考えをまとめた上で相手に理解できるように説明を行い、また相手の説明を理解した上で自分の考えをまとめられるように演習を行います。
期待される学習成果（目標）	分からないことや不安なことがあれば、遠慮せず、積極的に質問したり、話しかけたりするようにして下さい。大学生活では、自分から動くことが非常に重要です。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	合同ゼミ		第 9 講	合同ゼミ	
第 2 講	オリエンテーション	ガイダンス、自己紹介を行い、授業の方針、進め方について説明します。	第 10 講	課題書をまとめる	担当者を決めた上で、課題書を読みその内容を要約し、議論を行うことができるようにします。
第 3 講	演習の準備 1	図書館（大学や公立図書館）の利用の方法や資料の調べ方について説明します。	第 11 講	課題書をまとめる	
第 4 講	演習の準備 2	報告の仕方、書き方など、レポートの作成について説明します。	第 12 講	課題書をまとめる	
第 5 講	合同ゼミ		第 13 講	合同ゼミ	
第 6 講	課題書を読む	課題書を読み、自分の意見を口頭や文章により述べるができるようになります。	第 14 講	課題書をまとめる	
第 7 講	課題書を読む		第 15 講	まとめ	レポートなどの課題を提出する。
第 8 講	課題書を読む		定期試験		
評価方法	授業への取り組みを 50%、本の要約などの課題を 50%として総合点数により評価する。なお卒業時まで「漢検」の 3 級以上に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定 3 級以上を取得している人はこの限りではありません（要証明書）。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
小笠原善康『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書			小笠原善康『就活生のための作文・プレゼン術』ちくま新書		